

- 57) 桂川秀雄, 山本雅一, 大坪毅人, 片桐聡, 吉利賢治, 高崎 健. 肝細胞癌(出血)切除例の検討. 第101回日本外科学会総会, 仙台(2001年4月), 日外会誌, 102:334, 2001.
- 58) 山本雅一, 高崎 健. 2 cm以下境界不明瞭. 高分化型細胞癌に対する外科治療(パネルディスカッション 早期肝細胞癌をめぐる諸問題). 第87回日本消化器病学会総会, 東京(2001年4月), 日消病会誌, 98:71, 2001.
- 59) 吉利賢治, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 小泉 哲, 高崎 健. 術前CT所見による肝細胞癌肉眼型診断. 第87回日本消化器病学会総会, 東京(2001年4月), 日消病会誌, 98:273, 2001.
- 60) 富岡寛行, 山本雅一, 羽鳥 隆, 原田信比古, 今泉俊秀, 高崎 健, 村田洋子. 限局性腓肝狭窄を伴った腓体部上皮内癌の1切除例. 第87回日本消化器病学会総会, 東京(2001年4月), 日消病会誌, 98:281, 2001.
- 61) 福田祥子, 飯塚文瑛, 塚田百合子, 中村哲夫, 高崎 健, 林 直諒. 10年以上の長期経過観察を行ったクローン病の臨床的検討. 第87回日本消化器病学会総会, 東京(2001年4月).
- 62) 福田祥子, 飯塚文瑛, 本間直子, 塚田百合子, 中村哲夫, 板橋道朗, 亀岡信悟, 高崎 健, 鈴木 茂, 藤盛孝博, 林 直諒. Surveillance colonoscopy で認められた潰瘍性大腸炎合併大腸癌(colitic cancer)の2例. 第61回日本消化器内視鏡学会総会, 神戸(2001年5月), Gastroenterological Endoscopy, 43 (臨増), 2001.
- 63) 桂川秀雄, 山本雅一, 大坪毅人, 片桐聡, 吉利賢治, 富岡寛行, 高崎 健, 橋本悦子, 林 直諒. 生体肝移植後高度急性拒絶反応時にoutflowblockの所見を呈した1例. 第19回日本肝移植研究会, 横浜(2001年5月).
- 64) 徳重克年, 橋本悦子, 島田昌彦, 小川美穂, 淵之上昌平, 高崎 健, 林 直諒. 血液型不適合間移植を検討し血漿交換後レシピエントのドナー血液型抗体が急上昇を認めた1例. 第19回日本肝移植研究会, 横浜(2001年5月).
- 65) 松村直樹, 山本雅一, 有賀 淳, 大坪毅人, 片桐 聡, 高崎 健. 腫瘍形成型胆管細胞癌の予後因子. 第26回日本外科学会系連合学会学術集会, 東京(2001年6月), 日外科系連会誌, 3:834, 2001.
- 66) 齋田 真, 大坪毅人, 桂川秀雄, 山本雅一, 高崎 健. 肉腫様変化を示した肝細胞癌の1例. 第26回日本外科系連合学会学術集会, 東京(2001年6月), 日外科系連会誌, 3:858, 2001.
- 67) 斎藤明子, 春山航一, 喜久里正躬, 林 直諒, 片桐 聡, 桂川秀雄, 高崎 健. 肝細胞癌に対する全麻下経皮的ラジオ波凝固壊死療法. 第37回日本肝癌研究会, 下関(2001年6月), 抄録集, 2001.
- 68) 宮崎英史, 斎藤明子, 高崎 健, 中野雅行, 林 直諒. B型C型肝炎ウイルスマーカー陰性肝細胞癌症例の臨床病理学的検討. 第37回日本肝癌研究会, 下関(2001年6月).
- 69) 春山航一, 斎藤明子, 長原 光, 林

- 直諒, 齋田 真, 大坪毅人, 山本雅一, 高崎 健, 中野雅行. 肝未分化肉腫の一例. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).
- 70) 春山航一, 齋藤明子, 長原 光, 林直諒, 齋田 真, 大坪毅人, 山本雅一, 高崎 健, 中野雅行. 肝未分化肉腫の一例. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).
- 71) 山本雅一, 高崎 健, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 松本直樹. 肉眼型、手術成績より検討した胆管細胞癌の手術適応 (シンポジウム5 胆管細胞癌の治療成績向上を目指す), 第26回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:824, 2001.
- 72) 大坪毅人, 高崎 健, 山本雅一, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 有泉俊一. 肝門部グリソン鞘一括処理の基本手技. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:932, 2001.
- 73) 吉利賢治, 高崎 健, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡. 原発性肝癌右三区域切除後長期生存した13例の検討. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:958, 2001.
- 74) 桂川秀雄, 山本雅一, 大坪毅人, 片桐聡, 吉利賢治, 高崎 健. HBc抗体陽性肝癌の検討. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:960, 2001.
- 75) 片桐 聡, 高崎 健, 山本雅一, 有賀淳, 大坪毅人, 桂川秀雄, 吉利賢治. 肝細胞癌術後肺転移症例の検討. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:1065, 2001.
- 76) 松村直樹, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 高崎 健. 腫瘤成型肝内胆管癌における血中CA19?9. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌 7:1066, 2001.
- 77) 高橋 豊, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 福田 晃, 原田信比古, 高崎 健. 胆管内腫瘍栓からの胆道内出血を認めた肝細胞癌の一例. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月), 日消外会誌, 7:1069, 2001.
- 78) 白鳥敬子, 清水京子, 久田生子, 林直諒, 今泉俊秀, 高崎 健. 膵疾患における便中エラスターゼ-1測定による膵外分泌機能評価の有用性、膵臓16、第32回日本膵臓学会大会, 小倉 (2001年7月).
- 79) 小山祐康, 渡辺伸一郎, 西野隆義, 林直諒, 今泉俊秀, 高崎 健. 膵癌におけるtelomerase活性、k-ras codon 12点突然変異および癌抑制遺伝子p-16のmethylationに関する検討. 第32回日本膵臓学会大会, 小倉 (2001年7月), 膵臓, 16, 2001.
- 80) 大森 格, 長谷川潔, 小川美穂, 久田生子, 鳥居信之, 柴田亮行, 小林槇雄, 高崎 健, 林直諒. サイトメガロウイルス腸炎を合併した劇症肝炎の1例. 第265回日本消化器病学会関東支部例会, 東京 (2001年7月).
- 81) 山本雅一, 高崎 健, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治. 肝細胞癌に

- 対する肝門部グリソン鞘一括処理による系統的肝切除の切除成績. 第13回日本肝胆膵外科学会, 仙台(2001年6月), 抄録集, 165, 2001.
- 82) 松村直樹, 山本雅一, 有賀 淳, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 高崎 健. ウイルス性肝炎を併存した腫瘤形成型胆管細胞癌切除例の検討. 第13回日本肝胆膵外科学会, 仙台(2001年6月), 抄録集, 187, 2001.
- 83) 大坪毅人, 高崎 健, 山本雅一, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治. 肝切除における肝下部大静脈部分阻血の有効性と腎機能に及ぼす影響について. 第13回日本肝胆膵外科学会, 仙台(2001年6月), 抄録集, 243, 2001.
- 84) 大江尹利子, 北田増和, 白鳥敬子, 清水京子, 渡辺伸一郎, 高崎 健, 林 直諒. 膵外分泌機能からみた膵管内乳頭状粘液性腫瘍における十二指腸液のK-ras点突然変異の解析. 第48回日本臨床検査医学会総会, 横浜(2001年8月), 臨床病理, 49, 補冊, 2001.
- 85) 竹田昌弘, 白鳥敬子, 小田桐恵美, 高崎 健, 林 直諒. 便中エラスターゼ-1測定を含めた各種膵外分泌機能検査の評価. 第48回日本臨床検査医学会総会, 横浜(2001年8月), 臨床病理, 49, 補冊, 2001.
- 86) 片桐 聡, 高崎 健, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 吉利賢治. 膵頭後部リンパ節に転移再発し、外科的治療にて長期間無再発生存が得られている肝細胞癌の一例. 第13回日本肝胆膵外科学会, (2001年6月), 抄録集, 370, 2001.
- 87) 山本雅一, 高崎 健, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治. 肝細胞に対する肝門部グリソン鞘一括処理による系統的肝切除の治療成績 (シンポジウム2 原発性肝癌、転移性肝癌治療の選択肢とその治療成績). 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:184, 2001.
- 88) 大坪毅人, 高崎 健, 山本雅一, 小林秀規, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治. 安全な肝切除のための工夫 (ビデオシンポジウム2 安全な肝切除の工夫と手技). 第62回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:215, 2001.
- 89) 奥山隆二, 今井健一郎, 畑地美妃, 板倉紀子, 山本雅一, 高崎 健. 外科卒業後教育の現状と問題点. 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:252, 2001.
- 90) 高崎 健, 今泉俊秀, 羽鳥 隆, 太田岳洋, 山本雅一, 大坪毅人. 十二指腸乳頭部腫瘍に対する十二指腸下行脚部分切除、間置空腸膵管胆管吻合術. 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:305, 2001.
- 91) 横井千寿, 山本雄一, 太田岳洋, 板倉紀子, 工藤健司, 高崎 健. 術中内視鏡が有効だったZenker憩室の一切除例. 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:755, 2001.
- 92) 新井俊文, 福田 晃, 山本雅一, 笹川剛, 手塚 徹, 鳥羽 隆, 原田信比古, 今

- 泉俊秀, 高崎 健. 脾腫瘍性嚢胞との鑑別に難渋した脾臓穿破を来した脾尾部仮性嚢胞の一例. 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:761, 2001.
- 93) 宮倉 悟, 山本雅一, 笹川 剛, 福田晃, 手塚 徹, 板倉紀子, 高崎 健. 肺血流シンチグラムにて診断し、抗凝固療法にて治療し得た腹部外科手術直後の高度肺梗塞の3例. 第63回日本臨床外科学会総会, 横浜(2001年10月), 日臨外会誌, 62:769, 2001.
- 94) 板倉紀子, 山本雅一, 太田岳洋, 福田晃, 宮倉 悟, 横井千寿, 高崎 健. 術前の血栓溶解療法が有効であった肝硬変に合併した上腸間膜静脈血栓症の1例. 第43回日本消化器病学会大会, 京都(2001年10月), 日消病会誌, 98:630, 2001.
- 95) 山本雅一, 高崎 健, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 有泉俊一, 斉藤朋子, 中野雅行. 2 cm以下肝細胞癌の外科治療成績—肉眼型と組織学的異型度—. 第43回日本消化器病学会大会, 京都(2001年10月), 日消病会誌, 98:583, 2001.
- 96) 小林慎二郎, 高崎 健, 鳥羽 隆, 山本雅一, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 江口礼紀, 小張加美, 草野 央. 肝切除後、胸部下部傍食道リンパ節に孤立性転移を来した肝細胞癌1例. 第43回日本消化器病学会大会, 京都(2001年10月), 日消病会誌, 98:586, 2001.
- 97) 福田祥子, 飯塚文瑛, 塚田百合子, 山岸直子, 本間直子, 中村哲夫, 高崎 健, 林 直諒. 10年以上の長期経過観察を行ったクローン病の臨床的検討(第2報). 第43回日本消化器病学会大会, 京都(2001年10月), 日消病会誌, 98(Suppl), 2001.
- 98) 吉利賢治, 山本雅一, 大坪毅人, 小林秀規, 桂川秀雄, 片桐 聡, 高崎 健. 巨大肝細胞癌19例の切除成績(臨床的検討4 切除例). 第39回日本癌治療学会総会, 広島(2001年11月), 抄録集CD-ROM, 1383, 2001.
- 99) 片桐 聡, 高崎 健, 山本雅一, 大坪毅人, 小林秀規, 桂川秀雄, 吉利賢治. 初回手術肝細胞癌における肝外転移臓器特異性に関する検討(転移癌の治療1). 第39回日本癌治療学会総会, 広島(2001年11月), 抄録集CD-ROM, 1259, 2001.
- 100) 山本雅一, 高崎 健, 太田岳洋, 大坪毅人, 桂川秀雄, 片桐 聡, 吉利賢治, 松村直樹. リンパ節転移を認めた肝内胆管癌の切除成績(手術療法1 リンパ節郭清). 第39回日本癌治療学会総会, 広島(2001年11月), 抄録集CD-ROM, 877, 2001.
- 101) 杉木孝章, 山本雅一, 有賀 淳, 藤沢俊美, 高崎 健, 中野雅行. モノクローナル抗体hepatocyteによる免疫組織学的染色と単発細小単細胞癌切除症例切除成績(ポスターディスカッション臨床的検討1). 第39回日本癌治療学会総会, 広島(2001年11月), 抄録集CD-ROM, 1429, 2001.
- 102) Shimada, M., Hashimoto, E.,

- Hayashi, N., and Takasaki, K.
Hepatocellular carcinoma arising in non-alcoholic steatohepatitis. 52nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Dallas (November 2001), *Hepatology* 34, 4, pt. 2 of 2, 2001 .
- 103) 西野隆義, 土岐文武, 唐澤英偉, 小山祐康, 福屋裕嗣, 春山航一, 神津知永, 鈴木 茂, 林 直諒. 膵の慢性炎症におけるERCPおよびMRCPの診断能の検討—ERCPの意義—. 第61回日本消化器内視鏡学会総会, 神戸 (2001年5月), *Gastroenterological Endoscopy*, 43(臨増), 2001.
- 104) 塚田百合子, 中村哲夫, 林 直諒. 炎症性腸疾患炎症部粘膜におけるサイトカイン遺伝子発現パターンからみた抗TNF α 抗体療法の適応について (パネルディスカッション 炎症性腸疾患の病因・病態におけるサイトカインの役割), 第87回日本消化器病学会総会, 東京 (2001年4月), *日本消化器病学会雑誌*, 98(Suppl), 2001.
- 105) 小川美穂, 長谷川潔, 林 直諒. 臨床例から解析したHBVコア領域内のCTLエピトープ (パネルディスカッション ウイルス肝炎の病態と治療). 第87回日本消化器病学会総会, 東京 (2001年4月), *日本消化器病学会雑誌*, 98(Suppl), 2001.
- 106) 麻生智子, 長原 光, 林 直諒. HepG2細胞におけるTGF- β によるapoptosis 耐性機構の検討. 第87回日本消化器病学会総会, 東京 (2001年4月), *日本消化器病学会雑誌*, 98(Suppl), 2001.
- 107) 白鳥敬子, 清水京子, 久田生子, 神津知永, 林 直諒. 腸管内脂肪酸の鎖長による膵外分泌刺激性の相違について. 第87回日本消化器病学会総会, 東京 (2001年4月), *日本消化器病学会雑誌*, 98(Suppl), 2001.
- 108) 喜久里正躬, 斎藤明子, 春山航一, 林 直諒. 肝細胞癌の診断におけるレボビスト造影エコーの有用性の検討. 第37回日本肝臓学会総会, 下関 (2001年5月), 抄録集, 2001.
- 109) 島田昌彦, 橋本悦子, 中西敏己, 徳重克年, 長谷川潔, 奥田博明, 林 直諒. Nonalcoholic steatohepatitisにおけるサイトカインの関与 (ワークショップ10 代謝性肝疾患の病態). 第37回日本肝臓学会総会, 横浜 (2001年5月), *肝臓*, 42 (Suppl 1), 2001.
- 110) 小川美穂, 長谷川潔, 金井尚子, 成富琢磨, 飯塚愛子, 静岡 徹, 石川賀代, 鳥居信之, 林 直諒. B型急性肝炎の臨床経過とHBVgenotypeの関連性. 第37回日本肝臓学会総会, 横浜 (2001年5月), *肝臓*, 42 (Suppl 1), 2001.
- 111) 春田郁子, 橋本悦子, 山内克巳, 林 直諒, 小林槇雄, 宮崎 徹. 実験肝炎におけるAIM (apoptosis inhibitor expressed by macrophages)を介した肝マクロファージ/Kupffer細胞の貪食能の検討. 第37回日本肝臓学会総会, 横浜 (2001年5月), *肝臓*, 42 (Suppl 1), 2001.

- 112) 徳重克, 山内克巳, 長谷川潔, 橋本悦子, 林直諒. C型肝炎患者におけるTNF遺伝子の多様性に関する検討. 第37回日本肝臓学会総会, 横浜 (2001年5月), 肝臓, 42 (Suppl 1), 2001.
- 113) 橋本悦子, 島田昌彦, 林直諒. 自己免疫性肝疾患と抗好中球細胞質抗体. 第37回日本肝臓学会総会, 横浜 (2001年5月), 肝臓, 42 (Suppl 1), 2001.
- 114) 高崎朋子, 長原 光, 橋本明子, 立木美香, 長岡深雪, 星野容子, 橋本悦子, 林直諒. クエン酸モサブリドによる薬剤性肝障害の1例. 第264回日本消化器病学会関東支部例会, つくば (2001年5月).
- 115) Nakamura, S., Murata, Y., Mitsunaga, A., Hoshino, Y., Suzuki, S., and Hayashi, N. Evaluation of endoscopic treatment for esophageal varices by three-dimensional endoscopic ultrasonography. 102nd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association, Atlanta (May 2001), 抄録集CD-ROM 2001.
- 116) Shimizu, K., Hisada, S., Shiratori, K., Kobayashi, S., and Hayashi, N. Peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)- γ ligand inhibits the progression of pancreatic fibrosis in vivo and profibrogenic action in pancreatic myofibroblast. 102nd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association, Atlanta (May 2001), Gastroenterology, 1205, (Suppl 1), 2001.
- 117) Nishino, T., Toki, F., Watanabe, S., Koyama, Y., Shiratori, K., Karasawa, E., Kobayashi S., and Hayashi, N. Immunohistochemical study of autoimmune pancreatitis. 102nd Annual Meeting of the American Gastroenterological Association, Atlanta (May 2001), Gastroenterology, 1205, (Suppl 1), 2001.
- 118) 高田充規子, 長原 光, 久田生子, 星野容子, 吉岡容子, 伊賀陽子, 橋本悦子, 山浦 常, 戸塚恭一, 林直諒. EBVとランブル鞭毛虫症の同時感染症により肝障害をきたした1例. 第12回日本臨床寄生虫学会, 東京 (2001年6月).
- 119) 八辻 賢, 久田生子, 白鳥敬子, 土岐文武, 林直諒. 胆道内回虫迷入を起こした1例. 第12回日本臨床寄生虫学会, 東京 (2001年6月).
- 120) 甲斐耕太郎, 唐仁原全, 村上 徹, 小山一郎, 中島一朗, 瀧之上昌平, 長谷川潔, 橋本悦子, 林直諒. 当科におけるHBc抗体陽性ドナーからの水平感染予防戦略. 第19回日本肝移植研究会, 横浜 (2001年5月).
- 121) 中村真一, 光永 篤, 星野容子, 岸野真衣子, 小西洋之, 村田洋子, 鈴木 茂, 林直諒. 早期再発を認めた傍食道静脈併存食道静脈瘤の2例. 第72回日本消化器内視鏡学会 関東地方会, 東京 (2001年6月), Progress of Digestive Endoscopy, 59, 2001.
- 122) 福田祥子, 井上雄志, 八辻 賢, 塚田

百合子, 手塚 徹, 中村哲夫, 飯塚文瑛, 鈴木 茂, 林 直諒. 横行結腸 Dieulafoy様潰瘍からの動脈性出血を内視鏡的に止血し得た1例. 第72回日本消化器内視鏡学会 関東地方会, 東京 (2001年6月), *Progress of Digestive Endoscopy*, 59, 2001.

123) 春山航一, 西野隆義, 土岐文武, 久田生子, 福屋裕嗣, 小山祐康, 鈴木 茂, 林 直諒. ERCPにおけるグルカゴンの有用性の検討. 第72回日本消化器内視鏡学会 関東地方会, 東京 (2001年6月), *Progress of Digestive Endoscopy*, 59, 2001.

124) 中村真一, 村田洋子, 光永 篤, 星野容子, 鈴木 茂, 林 直諒. 3次元超音波内視鏡検査 (3D-EUS) による食道静脈瘤の血行動態と内視鏡的治療に関する研究. 第18回臨床食道噴門研究会, 札幌 (2001年6月).

125) 西野隆義, 渡辺伸一郎, 小山祐康, 福屋裕嗣, 小林慎雄, 林 直諒. 新しい選択的iNOS阻害剤ON01714のラット closed duodenal loop (CDL) 膵炎に対する治療効果の検討. 第32回日本膵臓学会大会, 小倉 (2001年7月), *膵臓*, 16, 2001.

126) 高津和子, 中西敏己, 古川隆二, 山内克巳, 林 直諒. ビタミンK類の生物学的活性比較. 第48回日本臨床検査医学会総会, 横浜 (2001年8月), *臨床病理*, 49, 補冊, 2001.

127) 中村真一, 光永 篤, 村田洋子, 星野容子, 小林秀規, 鈴木 茂, 林 直諒. 内視鏡治療を施行した食道静脈瘤症例の

遠隔成績と生命予後に関する検討 (シンポジウム 手術・内視鏡治療は門脈圧亢進症の生命予後を改善したか?). 第8回日本門脈圧亢進症学会総会, 日本門脈圧亢進症学会雑誌, 7, 2001.

128) 島田昌彦, 橋本悦子, 長谷川潔, 奥田博明, 林 直諒. 腹腔鏡・肝生検にて非アルコール性脂肪肝炎と診断され、経過観察中に肝細胞癌を発症した2例. 第50回腹腔鏡談話会, 東京 (2001年9月).

129) 星野容子, 光永 篤, 中村真一, 岸野真衣子, 小西洋之, 村田洋子, 林 直諒. 上部消化管DAVE治療におけるアルゴンプラズマ凝固法の有用性. 第62回日本消化器内視鏡学会総会, 京都 (2001年10月), *Gastroenterological Endoscopy*, 43 (Suppl 2), 2001.

130) 春山航一, 西野隆義, 土岐文武, 久田生子, 福屋裕嗣, 小山祐康, 林 直諒. ERCPにおけるグルカゴンの有用性の検討. 第62回日本消化器内視鏡学会総会, 京都 (2001年10月), *Gastroenterological Endoscopy*, 43 (Suppl 2), 2001.

131) 塚田百合子, 中村哲夫, 飯村光年, 飯塚文瑛, 福田祥子, 林 直諒. 潰瘍性大腸炎炎症局所粘膜内サイトカインプロファイルからみたステロイド療法及びGCAP (顆粒球吸着療法) の効果予測. 第43回日本消化器病学会大会, 京都 (2001年10月), *日本消化器病学会雑誌*, 98, (Suppl), 2001.

132) 戸張真紀, 長原 光, 鳥居信之, 中村真一, 星野容子, 久田生子, 春山航一, 小木曾智美, 吉岡容子, 伊賀陽子, 高田充規子, 松丸 剛, 吉満美子, 林 直諒, 小林

秀規, 澤田達男. 動脈造影にて腫瘍濃染を認めた腹膜悪性中皮腫の1例. 第266回日本消化器病学会 関東支部例会, 横浜 (2001年9月).

133) 加藤博士, 中村哲夫, 飯村光年, 福田祥子, 塚田百合子, 山岸直子, 本間直子, 飯塚文瑛, 林直諒, 鈴木 忠. 腸管囊腫様気腫症を伴った慢性偽性腸閉塞に対して高圧酸素療法が有効であった1例. 第266回日本消化器病学会 関東支部例会, 横浜 (2001年9月).

134) Asou, T., Nagahara, H., Ishida, K., and Hayashi, N. Mapk inhibition sensitized HepG2 cells to TGF- β mediated apoptosis with down regulation of anti-apoptotic mcl-1. 52nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Dallas (November 2001), *Hepatology*, 34, 4, a. 2 of 2, 2001.

135) Ishida, k., Nagahara, H., Asou, T., Akaike, T., and Hayashi, N. Synthetic poly-glycopolymer, PVLA, inhibited anoikis without mapk and akt activation in adult rat hepatocytes. 52nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Dallas (November 2001), *Hepatology*, 34, 4, b. 2 of 2, 2001.

136) Ogawa, M., Hasegawa, K., Torii, N., Kanai, N., and Hayashi, N. Clinical features and viral sequences of various genotypes of hepatitis b

virus compared among patients with acute hepatitis B in Tokyo, Japan. 52nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Dallas (November 2001), *Hepatology*, 34, 4, pt. 2 of 2, 2001.

137) Torii, N., Hasegawa, K., Ogawa, M., Hashimoto, E., and Hayashi, N. Effectiveness and long-term outcome of lamivudine therapy for acute hepatitis B. 52nd Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, Dallas (November 2001), *Hepatology*, 34, 4, pt. 2 of 2, 2001.

138) Nakamura, S., Mitsunaga, A., Hoshino, Y., Kishino, M., Honnma, N., Murata, Y., Suzuki, S., and Hayashi, N. Therapeutic outcome of endoscopic hemostasis for bleeding gastroduodenal ulcers. 9th United European Gastroenterology Week, Amsterdam (October 2001), 抄録集CD-ROM 2001.

139) Mitsunaga, A., Hoshino, Y., Yamagishi, N., Honnma, N., Tezuka, T., Inoue, Y., Nakamura, S., Murata, Y., and Hayashi, N. Usefulness to use magnifying endoscopy for surveillance of early gastric cancer after EMR. 9th United European Gastroenterology Week, Amsterdam (October 2001), 抄録集CD-ROM 2001.

- 140) Yamagishi, N., Iizuka, B., Inoue, T., Tezuka, T., Mitusnaga, A., Murata, Y., and Hayashi N. Clinical and colonoscopic investigation of skipped periappendiceal lesions in ulcerative colitis (UC). 9th United European Gastroenterology Week, Amsterdam (October 2001), 抄録集CD-ROM 2001.
- 141) 中村真一, 光永 篤, 村田洋子, 松本亮, 星野容子, 鈴木 茂, 林 直諒. 胃十二指腸潰瘍出血に対する内視鏡的止血術の治療成績. 第25回医学懇話会, 東京 (2001年11月), 抄録集 2001.
- 142) 春田郁子, 山内克巳, 林 直諒, 小林槇雄, 宮崎 徹. LPS誘発肝炎におけるAIM (apoptosis inhibitor expressed by macrophages) を介した肝 macrophage/kupffer細胞の貧食能の検討. 第31回日本免疫学会総会・学術集会, 大阪 (2001年12月).
- 143) 山口尚子, 山内克巳, 古川隆二, 高津和子, 中西敏己, 磯野悦子, 小松達司, 林直諒. 自己免疫性肝炎患者リンパ球より作製したヒトモノクローナル抗体の解析. 第21回学内免疫談話会, 東京 (2001年7月), 東京女子医科大学雑誌, 71:11-12, 2001.
- 144) 春田郁子, 山内克巳, 橋本悦子, 加藤陽一郎, 小林槇雄, 林 直諒. 炎症とAIM (apoptosis inhibitor expressed by macrophages). 第21回学内免疫談話会, 東京 (2001年7月), 東京女子医科大学雑誌, 71:11-12, 2001.
- 145) 奥田博明, 橋本悦子, 長谷川潔, 林直諒. 肝硬変例における分岐鎖 アミノ酸顆粒製剤から肝不全用経口栄養剤への切り替え投与の臨床的有用性の検討. 第5回日本肝臓学会大会, 京都 (2001年10月), 肝臓, 42 (Suppl 2), 2001.
- 146) 千葉三千代, 小幡 裕, 奥田博明, 齋藤明子, 林 直諒. Hepatic peribiliary cysts の2剖検例. 第5回日本肝臓学会大会, 京都 (2001年10月), 肝臓, 42 (Suppl 2), 2001.
- 147) 鳥居信之, 長谷川潔, 小川美穂, 金井尚子, 橋本悦子, 林 直諒. 急性B型肝炎に対するLamivudine therapy の有効性と長期予後. 第5回日本肝臓学会大会, 京都 (2001年10月), 肝臓, 42 (Suppl 2), 2001.
- 148) 静間 徹, 小幡 裕, 橋本悦子, 長谷川潔, 奥田博明, 山内克巳, 林 直諒. 当院での20年間におけるA型肝炎の動向と重症化・遷延化に関わる因子の検討. 第5回日本肝臓学会大会, 京都 (2001年10月), 肝臓, 42 (Suppl 2), 2001.
- 149) 石田晃司, 長原 光, 麻生智子, 赤池敏宏, 林 直諒. 合成糖高分子PVLAによる肝細胞anoikisの抑制. 第5回日本肝臓学会大会, 京都 (2001年10月), 肝臓, 42 (Suppl 2), 2001.
- 150) 島田昌彦, 橋本悦子, 長原 光, 長谷川潔, 奥田博明, 山内克巳, 林 直諒. Nonalcoholic Steatohepatitisの薬物治療-Radical scavengerを中心にー [ワークショップ・わが国における非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の現況]. 第34回日本肝臓学会西部会, 高知 (2001年12月), 肝臓, 42 (Suppl 3),

2001.

151) 中村真一, 光永 篤, 村田洋子, 松本亮, 星野容子, 鈴木 茂, 林 直諒. 食道静脈瘤に対する内視鏡的治療法の選択—硬化療法と結紮術の適応— (パネルディスカッション 食道胃噴門部静脈瘤治療2001年—EVLかEISか?). 第73回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 東京 (2001年12月), Progress of Digestive Endoscopy, 60, 2001.

152) 春日井博志, 井上敦雄, 竜田正晴. ラジオ波治療の導入による肝細胞癌内科治療の変貌. 第87回日本消化器病学会総会, 東京 (2001年4月).

153) 春日井博志, 井上敦雄, 加地 到, 松永 隆, 竜田正晴. 肝細胞癌に対するラジオ波治療の評価; PEITとの無作為比較試験. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).

154) Kasugai, H., Inoue, A., Matsunaga, T., Kaji, I., Ioka, T., Oshikawa, O., Tanaka, S., and Tatsuta, M. Comparizon of radiofrequency ablation and ethanol injection for hepatocellular carcinoma. 6th AFSUMB.

155) 岡 博子, 山崎 修, 真鍋隆夫, 井上健, 関 寿人, 大崎往夫, 春日井博志, 工藤正俊. TAEは肝細胞癌の生存率に寄与するか?—無治療群を対象としての検討. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).

156) 新宮教久, 井上敦雄, 春日井博志, 加地 到, 松永 隆, 中泉明彦, 井上悦男, 大谷 透, 竜田正晴. 胆管炎反復中5年間

無再発で10年生存の肝細胞癌の1例. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).

157) 加地 到, 春日井博志, 飯石浩康. 経皮的ラジオ波熱凝固療法を中心とした肝細胞癌の治療戦略. 第75回日本消化器病学会近畿支部例会, (2001年9月).

158) 加地 到, 春日井博志, 飯石浩康. 肝細胞癌治療における経皮的ラジオ波熱凝固療法の位置付け. 第76回日本消化器病学会近畿支部例会, (2002年2月).

159) 佐々木 洋, 山田晃正, 石川 治, 大東弘明, 平塚正弘, 亀山雅男, 村田幸平, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 今岡真義, 高見 宏, 小林 亨, 前田 修. 進行肝癌に対する肝切除に伴う肝部下大静脈・肝静脈の切除・再建の適応と術式. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月).

160) 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 大東弘明, 平塚正弘, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義, 門田守人, 左近賢人, 永野浩昭, 宮本敦央, 森本修邦. 3回の肝内再発切除病巣を分子生物学的に転移再発と決定し得た長期生存肝門部胆管癌の1例. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月).

161) 大東弘明, 石川 治, 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義. 局所進行膵癌に対する手術単独療法の限界と補助療法による適応拡大. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月).

162) 和田浩志, 石川 治, 大東弘明, 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸,

今岡真義. 膵頭切除術後耐糖能障害の長期観察?膵腸吻合と膵胃吻合間での比較. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

163) 向坂英樹, 石川 治, 大東弘明, 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義. 術中門脈擦過細胞診によって切断された門脈微小浸潤陽性膵癌の特徴. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

164) 宮代 勲, 平塚正弘, 古河 洋, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義. 腹腔細胞診陽性胃癌は手術によって長期生存可能か. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

165) 土岐祐一郎, 甲 利幸, 石川 治, 大東弘明, 亀山雅男, 平塚正弘, 村田幸平, 宮代 勲, 佐々木 洋, 山田晃正, 今岡真義. 食道癌術前化学療法がリンパ節転移、とくに微小リンパ節転移に与える影響について. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

166) 平塚正弘, 宮代 勲, 石川 治, 古河洋, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 甲 利幸, 今岡真義. T1胃癌に対するsentinel node navigation surgeryの導入. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

167) 村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 石黒信吾, 三善英知, 谷口直之, 今岡真義. 大腸癌肝

転移巣における糖鎖転移酵素GnT-Vの発現. 第101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

168) 亀山雅男, 村田幸平, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義. 結腸癌に対する吊り上げ式 Hand Assisted Laparoscopic Surgery ?標準開腹術式との比較?. 101回日本外科学会総会, 仙台 (2001年4月) .

169) Hiratsuka, M., Miyashiro, I., Ishikawa, O., Furukawa, H., Yamada, T., Murata, K., Doki, Y., Ohigashi, H., Kameyama, M., Sasaki, Y., Kabuto, T., and Imaoka, S. Is sentinel node biopsy feasible for T1-2 gastric cancer? 4th International Gastric Cancer Congress, New York (April 2001).

170) Murata, K., Miyoshi, E., Kameyama, M., Ishikawa, O., Kabuto, T., Sasaki, Y., Hiratsuka, M., Ohigashi, H., Taniguchi, N., and Imaoka, S. Expression of N-acetylglucosaminyl transferase V (GnT-V) induces sialyl Lewis x (sLex) antigen in human colorectal cancer. Annual Meeting, The American Society of Colon and Rectal Surgeons, San Diego (June 2001).

171) 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義, 加地 到, 井上敦雄, 春日井博志, 井上悦男. 問題症例検討会症例?9. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月) .

172) 山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義. 肝切除後長期 (10yr以上) 生存した混合型肝癌の3例. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).

173) 山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 押川 修, 井上悦男, 石黒信吾, 竹中明美, 今岡真義. 症例検討会? 「肝細胞腺腫の1切除例」. 第37回日本肝癌研究会, 下関 (2001年6月).

174) 村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 向井睦子, 小松慶子, 中村博行, 三善英知, 谷口直之, 今岡真義. 大腸癌肝転移巣における糖鎖転移酵素GnT-Vの発現. 第10回日本がん転移学会, 徳島 (2001年6月).

175) 大東弘明, 石川 治, 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義. 膵胃吻合における縫合不全発生率と術後耐糖 - 膵腸吻合との対比 -. 第13回日本肝胆膵外科学会総会, 仙台 (2001年6月).

176) 向坂英樹, 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義. 非典型的肝細胞癌と診断され肝切除術を施行した肝毛細血管腫の一例. 第13回日本肝胆膵外科学会総会, 仙台 (2001年6月).

177) 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 甲 利幸, 平塚正弘, 亀山雅男, 土岐祐一郎, 村田幸平, 宮代 勲, 今岡真義. bipolar scissors を用いた肝門部胆管癌に対する尾状葉合併肝右葉切除術. 第13回日本肝胆膵外科学会総会, 仙台

(2001年6月).

178) 小森孝通, 石川 治, 大東弘明, 佐々木 洋, 山田晃正, 今岡真義, 春日井務. 膵管内乳頭腺癌切除 9年後の残膵に浸潤型膵管癌の発生を見た一例. K-ras遺伝子・粘液組成による解析. 第13回日本肝胆膵外科学会総会, 仙台 (2001年6月).

179) 山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義, 瀧口修司. 当センターにおける腹腔鏡下肝切除術の経験. 第13回日本肝胆膵外科学会総会, 仙台 (2001年6月).

180) 石川 治, 大東弘明, 山田晃正, 佐々木 洋, 甲 利幸, 亀山雅男, 平塚正弘, 今岡真義. 膵管癌切除成績向上を目指した併用治療の意義. 日本肝胆膵外科関連会議, 仙台 (2001年6月).

181) 藤田正一郎, 佐々木 洋, 山田晃正, 和田浩志, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義, 石黒信吾. 肝細胞癌を合併した多発性胆管過誤腫 (Von Meyenburg Complex) の1例. 第13回肝胆膵外科関連会議, 仙台 (2001年6月).

182) 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 甲 利幸, 平塚正弘, 亀山雅男, 村田幸平, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 今岡真義, 高見 宏, 小林 亨, 前田 修. 進行肝癌に対する肝部下大静脈、肝静脈の切除・再建を伴う肝切除. 第26回日本外科系連合学会総会, 東京 (2001年6月).

183) 山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義. 肝細胞癌 (HCC) に対する腹腔鏡下肝外

側区域切除術. 第26回日本外科系連合学会総会, 東京 (2001年6月) .

184) 土岐祐一郎, 甲 利幸, 石川 治, 平塚正弘, 亀山雅男, 佐々木 洋, 真能正幸, 石黒信吾. 術前化学 (FAP) 療法による微小リンパ節転移制御の可能性について. 第55回日本食道疾患研究会, 東京 (2001年7月) .

185) 大東弘明, 石川 治, 和田浩司, 佐々木 洋, 山田晃正, 今岡真義, 上原宏之, 中泉明彦, 春日井努. 粘液性嚢胞腺腫や粘液性膵管内乳頭腫瘍に対する術中膵管鏡所見. 第32回日本膵臓学会大会, 小倉 (2001年7月) .

186) 和田浩司, 石川 治, 大東弘明, 佐々木 洋, 山田晃正, 今岡真義, 竹中明美, 上原宏之, 中泉明彦, 春日井努. 膵癌切除後のドレーン排液細胞診によって局所、腹膜再発を予知できるか. 第32回日本膵臓学会大会, 小倉 (2001年7月) .

187) 亀山雅男, 村田幸平, 東山聖彦, 兒玉憲, 山田晃正, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 佐々木 洋, 石川 治. 大腸癌肝・肺両転移切除症例の再発時期別にみた検討. 第55回大腸癌研究会, 名古屋 (2001年7月) .

188) 大東弘明, 石川 治, 山田晃正, 佐々木 洋, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 平塚正弘, 亀山雅男, 甲 利幸, 今岡真義. 併用療法は膵外浸潤陽性進行膵頭部癌の治癒可能範囲を拡大し得たか. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

189) 小森孝通, 土岐祐一郎, 甲 利幸, 佐々木 洋, 平塚正弘, 亀山雅男, 大東弘明,

村田幸平, 宮代 勲, 山田晃正, 石川 治, 今岡真義. 食道癌におけるリンパ節転移巣の大きさは予後因子となるか? 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

190) 團野克樹, 亀山雅男, 村田幸平, 山田晃正, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義. 直腸癌術後早期に硬膜外膿瘍を発症した1例. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

191) 藤田正一郎, 甲 利幸, 土岐祐一郎, 山田晃正, 宮代 勲, 村田幸平, 大東弘明, 亀山雅男, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義. 重複大動脈弓を合併した胸部食道癌の1例. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

192) 佐々木 洋, 山田晃正, 石川 治, 大東弘明, 甲 利幸, 平塚正弘, 亀山雅男, 土岐祐一郎, 村田幸平, 宮代 勲, 今岡真義. 肝内胆管癌に対する根治的切除? グリソン系脈管の剥離、肝静脈系の処理、bipolar scissorsを用いた肝切離. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

193) 佐々木 洋, 山田晃正, 石川 治, 大東弘明, 甲 利幸, 平塚正弘, 亀山雅男, 土岐祐一郎, 村田幸平, 宮代 勲, 今岡真義. 遠隔成績からみた肝細胞癌肝内再発例に対する再切除の適応病態, 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

194) 亀山雅男, 村田幸平, 山田晃正, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義.

吊り上げ式鏡視下腸切除(HALS)?標準開腹術との比較からみた有用性の検討?.

第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

195)宮代 勲, 平塚正弘, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 甲 利幸, 石川 治, 今岡真義, 古河 洋. 腹腔細胞診陽性胃癌における長期生存の条件. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

196)山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義. 腫瘤形成型肝内胆管癌の臨床および病理学的解析とそれに基づく治療方針の検討. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

197)和田浩志, 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 甲 利幸, 今岡真義, 西山謹司. 門脈本幹? 1次分枝に腫瘍栓を伴った (Vp4? Vp3) 肝細胞癌に対する腫瘍栓をターゲットとした術前放射線治療の効果. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

198)土岐祐一郎, 甲 利幸, 石川 治, 平塚正弘, 亀山雅男, 宮代 勲, 佐々木 洋, 山田晃正, 矢野雅彦, 塩崎 均, 今岡真義. 食道T1b癌の放射線化学療法における問題点. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

199)平塚正弘, 宮代 勲, 石川 治, 古河洋, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 甲 利幸, 今岡真義. 幽門温存胃切除術は機能温

存面から患者の満足を得られたか? 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

200)村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義. 大腸癌肝転移巣における糖鎖転移酵素GnT-V発現の意義. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

201)木幡亮太郎, 村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 甲 利幸, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義. 大腸癌細胞における糖鎖転移酵素GnT-Vによるsialyl Lewis X抗原の誘導. 第56回日本消化器外科学会総会, 秋田 (2001年7月) .

202)山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 春日井博志, 井上敦雄, 加地 到, 松永 隆, 井上悦男, 黒田知純, 今岡真義. 高度進行肝細胞癌 (Stage IV [旧]) に対する外科治療の役割. 第36回近畿肝癌談話会, 大阪 (2001年9月) .

203)佐々木洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川治, 今岡真義, 春日井博志, 井上敦雄, 加地 到, 松永 隆, 井上悦男, 黒田知純. 肝切除は小肝細胞癌の第一選択治療になりうるか? 第36回近畿肝癌談話会, 大阪, (2001年9月) .

204)宮代 勲, 平塚正弘, 横山茂和, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義, 瀧口修司, 古河 洋. 胃癌手術へのSentinel node biopsy導入の現状とその展望. 第14回日本内視鏡外科学会総会, 札幌 (2001年9月) .

- 205) 野田剛広, 大東弘明, 石川 治, 山田晃正, 佐々木 洋, 横山茂和, 三谷 尚, 春日井 務. 膵体尾部に限局集簇した多発性非機能性ラ島腫の一切除例. 第50回近畿膵疾患談話会, 大阪(2001年9月).
- 206) 石川 治, 大東弘明, 佐々木 洋, 山田晃正, 亀山雅男, 平塚正弘, 土岐祐一郎, 村田幸平, 宮代 勲, 今岡真義, 中泉明彦, 竹中明美, 春日井 務. 膵癌切除後腹水細胞診と臨床的意義. 第60回日本癌学会総会, 横浜(2001年9月).
- 207) 佐々木 洋, 川上由里子, 山田晃正, 石川 治, 大東弘明, 平塚正弘, 亀山雅男, 村田幸平, 土岐祐一郎, 宮代 勲, 今岡真義, 山村倫子, 高橋克仁. 肝細胞癌切除例における腫瘍血管内カルボニンの発現と予後との関連. 第60回日本癌学会総会, 横浜(2001年9月).
- 208) 大東弘明, 石川 治, 佐々木 洋, 山田晃正, 横山茂和, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 今岡真義, 中泉明彦, 上原宏之, 春日井 努. 粘液産生性腫瘍の局在診断精度向上をめざした術中膵管鏡. 第60回日本癌学会総会, 横浜(2001年9月).
- 209) 土岐祐一郎, 甲 利幸, 石川 治, 平塚正弘, 佐々木 洋, 亀山雅男, 大東弘明, 村田幸平, 山田晃正, 宮代 勲, 真能正幸, 石黒信吾, 今岡真義. 食道癌術前化学療法による微小リンパ節転移制御の可能性について. 第60回日本癌学会総会, 横浜(2001年9月).
- 210) 村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 中村博行, 向井睦子, 瀬谷 司, 今岡真義. NKT細胞を介したマウス肝細胞癌肺転移モデルの免疫治療. 第60回日本癌学会総会, 横浜(2001年9月).
- 211) Sasaki, Y. Japanese experience (Sessione Fegato). 1st Nonve strategie nel trattamento delle lesioni neoplastiche precoci esofago-gastriche, colo-rettali ed epatiche, Treviso (Italy), (September 2001)
- 212) 和田浩志, 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義, 石黒信吾, 西山謹司. Vp4? Vp3高度進行肝細胞癌に対する腫瘍栓をターゲットとした術前放射線治療の効果. 第21回北摂肝癌研究会, 大阪(2001年10月).
- 213) 山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 横山茂和, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 今岡真義. 肝細胞癌に対するパイポーラ・シザーズによる簡便かつ安全な肝切除法? 従来法との比較検討?. 63回日本臨床外科医学会総会, 横浜(2001年10月).
- 214) 石川 治, 大東弘明, 横山茂和, 山田晃正, 佐々木 洋, 村田幸平, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 今岡真義. 膵癌手術時には門脈壁擦過細胞診が門脈合併切除適応決定に有用である. 第63回日本臨床外科医学会総会, 横浜(2001年10月).
- 215) 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 横山茂和, 宮代 勲, 村田幸平, 土岐祐一郎, 亀山雅男, 平塚正弘, 石川 治, 今岡真義. 肝切除は肝細胞癌に対する第一選択治

療になりうるか??内科的治療との比較検討. 第63回日本臨床外科医学会総会, 横浜 (2001年10月).

216)宮代 勲, 平塚正弘, 横山茂和, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義, 瀧口修司, 古河 洋. 胃癌手術への sentinel node biopsy導入への意義とは何か. 第63回日本臨床外科医学会総会, 横浜 (2001年10月).

217) 佐々木 洋, 山田晃正, 今岡真義. 肝内胆管癌予後向上のための具体的アプローチ. 腫瘍形成型肝内胆管癌に対する病態に応じた治療指針?再発様式からの検討. 第5回日本肝臓学会総会, 京都 (2001年10月).

218)村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義. ホスホジエステラーゼ4の大腸癌細胞運動能における役割. 第43回日本消化器病学会大会, 京都 (2001年10月).

219)山田晃正, 佐々木 洋, 大東弘明, 石川 治, 今岡真義. バイポーラ・シザーズを用いた肝切除?従来法との無作為比較試験中間報告と手術侵襲に関する検討?. 第4回近畿外科病態研究会, 大阪 (2001年10月).

220)團野克樹, 村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代 勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 小松慶子, 綾城正子, 石黒信吾, 中村博行, 今岡真義. 大腸癌肝転移例における接着斑構成分子の発現. 第56回日本大腸肛門病学会総会, 東京 (2001年10月).

221)村田幸平, 亀山雅男, 山田晃正, 宮代勲, 土岐祐一郎, 大東弘明, 平塚正弘, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義. 大腸癌におけるN?アセチルグルコサミン転移酵素Vとsialyl Lewis x抗原. 第56回日本大腸肛門病学会総会, 東京 (2001年10月).

222)平塚正弘, 宮代 勲, 石川 治, 古河洋, 横山茂和, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 今岡真義. 胃癌に対するSN生検におけるトレーサーの注入部位に関する考察. 第3回Sentinel Node Navigation Surgery研究会, 鹿児島 (2001年10月).

223) Sasaki, Y., Yamada, T., Ishikawa, O., Ohigashi, H., Hiratsuka, M., Kameyama, M., Doki, Y., Murata, K., Miyashiro, I., Yokoyama, S., Imaoka, S., and Kobayashi, T. Hepatic resection with reconstruction of the inferior vena cava and the right atrium for metastatic liver cancer from the rectum with tumor embolus. 18th Congress of pan-pacific surgical association Japan Chapter, 台北(November 2001)

224) 佐々木 洋, 山田晃正, 大東弘明, 平塚正弘, 亀山雅男, 村田幸平, 土岐祐一郎, 宮代 勲, 横山茂和, 石川 治, 今岡真義. 細胞癌の肝内再発に対する再切除の遠隔成績とその適応. 第39回日本癌治療学会総会, 広島 (2001年11月).

225)宮代 勲, 平塚正弘, 横山茂和, 山田晃正, 村田幸平, 土岐祐一郎, 大東弘明, 亀山雅男, 佐々木 洋, 石川 治, 今岡真義,

瀧口修司,古河 洋. Sentinel node biopsyは早期胃癌に対する縮小手術においてなぜ重要か. 第39回日本癌治療学会総会,広島(2001年11月).

226)山田晃正,佐々木 洋,大東弘明,石川 治,横山茂和,宮代 勲,村田幸平,土岐祐一郎,亀山雅男,平塚正弘,今岡真義. 術前放射線療法が奏効し根治切除し得た尾状葉原発のVp3肝細胞癌の1例. 第39回日本癌治療学会総会,広島(2001年11月).

227)向坂英樹,佐々木 洋,山田晃正,大東弘明,石川 治,横山茂和,村田幸平,宮代 勲,土岐祐一郎,亀山雅男,平塚正弘,今岡真義. 若年者肝細胞癌切除例の特徴. 第39回日本癌治療学会総会,広島(2001年11月).

228)宮代 勲,平塚正弘,石川 治,横山茂和,山田晃正,村田幸平,土岐祐一郎,大東弘明,亀山雅男,佐々木 洋,今岡真義,瀧口修司,古河洋. Sentinel node biopsyの胃癌手術における意義とは. 第31回胃外科・術後障害研究会,東京(2001年11月).

229)山田晃正,佐々木 洋,横山茂和,大東弘明,石川 治,今岡真義. 肝切除におけるバイポーラシザーズの有用性の検討?従来法との無作為比較試験と術後IL-6の動態?. 第2回大阪肝切除・術後管理研究会,大阪(2001年11月).

230)團野克樹,佐々木 洋,山田晃正,横山茂和,大東弘明,石川 治,今岡真義. 治療に難渋した肝中2区域切除時の両側高位肝内胆管損傷例. 第3回大阪肝臓外科談話会,大阪(2001年11月).

231)佐藤俊哉,松山 裕. 治療を繰り返し実施した場合のランダム化にもとづく因果効果の推定. 応用統計学会・日本計量生物学会2001年度合同年次大会,東京(2001年4月).

232)小川幸男,松山 裕,佐藤俊哉. Complete case解析とmultiple imputationの比較. 応用統計学会・日本計量生物学会2001年度合同年次大会,東京(2001年4月).

233)佐藤俊哉,松岡 淨. 何があっても割り付けどおり解析する. 第29回日本行動計量学会,兵庫(2001年9月).

234)佐藤俊哉. 20世紀の臨床試験で統計家はなにをしてきたか、21世紀の臨床試験で生物統計家はなにをすべきか. 第23回癌臨床研究・生物統計学研究会,東京(2001年12月).

235)佐藤俊哉,松山 裕. 多変量で調整したSMR. 第12回日本疫学会,東京(2002年1月).

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし